

あじさいを育てる会



下山 喜三男 さん

平成十六年度より町であじさいの苗木を中心に百日紅の苗木の植栽を始め平成十七年度あじさい一万五千本、百日紅四百本が植えられました。その後、保育管理を町から協力要請を受け平成十八年五月馬山地区の有志を中心に「あじさいを育てる会」が発足しました。

毎年五月から九月まで各月二日間の日程を設定し馬山地区全戸に協力を呼びかけ、下草刈りボランティア活

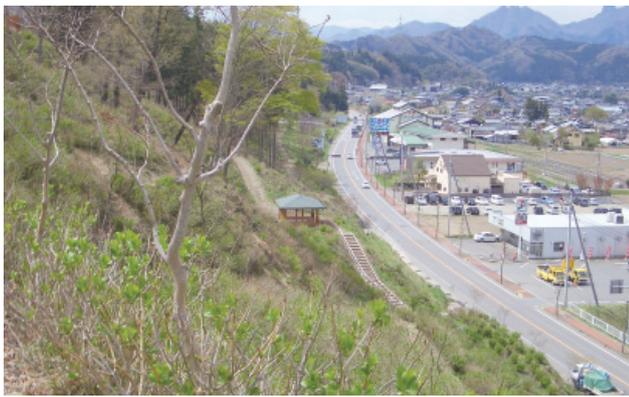
動をすることになりました。

その後、平成一八年から平成二〇年かけても県の助成もあり植栽が継続されあじさい二万本、百日紅一千二百本、面積は3万㎡と関東でも有数の規模となりました。平成二三年には遊歩道の整備も進み急峻な坂道5ヶ所に階段が設置され来園者には喜ばれるようになりました。また地元の皆様

の下草刈り等の協力により見事な花を咲かせるようにもなりました。

6月の花の満開を期に1週間

のあじさい祭りを開催、新聞報道の影響もあり土日を中心に約2千5百人の集客がありました。平成24年度は、4千人強の実績となりました。また、農産物販売等も行い好評を得ました。あじさい園



整備中の東屋

の感想を聞いてみると「きれい、広い、上からの眺めが素晴らしい、感動した」との評価が非常に多かった。平成25年については園内整備計画中のあづまや、休憩所、展望台が完成するので昨年以上の集客があるものと確信しています。まだ園内整備



は半ばですが町との協力により「関東一のあじさい園」と誇れる名所に仕上げている活動に取り組んでいきたいと考えています。ここ数年は、草刈りに作業への参加人数が減少傾向にありまして、ぜひ皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

町民の声

馬山保育園母親クラブ会長

黒 沢 ひとみ さん

日頃は様々な子育て支援策を通じて、私たち子育て世代のサポートをしていた

だき、ありがとうございます。この度「町民の声」として私から町政へのお願いしたいことは2点ございます。

まず、公園の建設です。私の住んでいる馬山地区を例に挙げますと、もともと公園は一つもなく、さらに小学校閉校に伴い、遊具も無くなってしまいました。「今の子はゲームばかりして外で遊ばない」など

とよく聞きますが遊べる場所がないのも現状です。二点目として、予防接種の個別接種制度を希望しますが、母親も仕事をしているケースが多いゆえに、接種時期に感染症が流行していると自分の子供の体調に問わず延期になってしまいうこともあり、家計ベースでは非常に不経済です。町民に優しい制度への改善をご検討ください。お願いです。

編集室から

3月定例議会も、全員出席の中、審議をし採決をしてまいりました。

年度末の補正と、新年度予算を、決定を致しました。3月末日を持って役場を退職となる職員さんは、2名だそうですが、永年に渡って、町のためにご尽力くださり、誠に苦勞様でした。また、新規採用の職員2名であるようですが、仕事に集中して頑張ってください。

と思います。

議会だよりですが、皆様方に来るだけ見やすく、読んでいただける紙面作りを心掛けておりますが、お気づきの点等がございましたら、お知らせ下さい。

広報発行特別委員会
委員長 矢嶋榮一
副委員長 木暮弘元
委員 原 秀男

高瀬政信
堀口博志
岡田武二

議会だより・会議録を
ホームページでご覧下さい。

<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

問い合わせ先：電話82-2111
(内線610番)